

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 5月 11日

事業所名 放課後等デイサービスウイズ守口滝井

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員10人に対し、指導訓練室は55㎡の広さです。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数を満たしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車椅子の方にも対応できるように配慮しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	○		毎日、ミーティングを行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、施設の改善につなげています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社HPで公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後検討したいと思います。	第三者による外部評価実施の検討。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月の職員会議時に研修を実施する他、2か月に一度本部研修に参加しています。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画期間毎にアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したアセスメントシートを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々のミーティングで行っています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者毎の特性や保護者の要望に合わせ、効果的で楽しい療育に努めています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日は外出を多く取り入れ、社会と接触する機会を提供しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントをベースに、長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員間での情報共有を図るための打ち合わせを日々実施しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間での情報共有を図るための打ち合わせを日々実施しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回個人ケア記録をとり、利用日に前回分を見直しています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング会議を毎月行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		アセスメントをベースに、設定した個別支援計画を作成しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		担当の先生、ご家族と連携しながら、連絡調整を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	該当ありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		十分とは言えませんが、情報共有と連携には、可能な限り努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—	該当ありません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		十分とは言えませんが、可能な限り連携し、助言や研修を受けるよう努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	日々の活動で利用者全員に画一的な機会提供は難しいため、地域のイベントなどへの参加にとどまっています。	交流や活動方法、実施の可否を含めた検討。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	現状は参加できていません。	今後積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳への記録の他、送迎時にお話するよう心掛けています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	事業所としての支援は実施できていないが、臨床心理士の相談窓口を設けています。	保護者に対する支援の検討。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要事項説明書を掲示しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からの相談に対しては、適切に対応し、可能な限り支援させて頂いています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		夏祭りの際に保護者懇談会を実施し、保護者同士の連携を支援しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速な対応を心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、活動内容と予定を掲載したレターを作成し、保護者様に発信しています。	

	35	個人情報に十分注意している	○		同意書を取り交わすなど十分注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通、情報伝達のため、絵カードなどを活用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		夏祭りを実施し、地域住民と交流する場を設けています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	職員には十分周知しているが、保護者への周知は不十分なので、今後検討したいと思います。	保護者への周知方法の検討。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震や火災を想定した避難訓練を定期的実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止に関する職員研修実施の他、広報を事業所に掲示しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		そのような措置が必要と思われる利用者には、契約の際に保護者様に丁寧に説明し、個別支援計画書の特記事項に記載することとしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		全ての利用者様について、アレルギーの有無を確認し、留意しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが起きた際には報告書を作成・保管し職員間で共有しています。	